

研究課題番号	1-1802
研究課題名	原子力事故データの総合解析による事故時の有害物質大気中動態評価法の高度化
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	名古屋大学
研究代表者名	山澤 弘実

1. 委員の指摘及び提言概要

福島第一の原子力事故における有害物大気拡散についての優れた検証研究であり、1F 事故のデータセットの作成は重要な成果である。個々のモデルの精密化に対して緻密な研究・取り組みが行われており、国際的連携を評価する。今後発生するかも知れない事態に備えて是非実施しておくべき研究で、期待された成果をあげたことも評価したい。しかし、事故後に新たなデータや情報が入ってきた時にどうモデル予測を修正し対応するのかについては要検討事項であろう。また、非常時にどのように準備するのがよいか実用化に向けたさらなる研究、非常事態対応における実用を容易にするためのスキームの準備・主体や手順等の提示、一般市民にわかりやすい形での成果の提供なども期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S